

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（店 長）	来客数の動き	・近隣に競合の大型店が出店してから3～4か月が たったが、前年比で売上が100%を達成、来客数は 105%前後で推移している。また、消費税総額表示も 客に定着したので、少し良くなってきている。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・暑い日が続き、ビール、ジュース、水物やアイスク リームなど冷たい物が良く売れている。前年比で来客 数が108%、売上は109%と好調である。
		家電量販店（店 長）	単価の動き	・オリンピックを前に、プラズマテレビ、液晶テレビ など、大型薄型テレビが好調である。家電商品では、 テレビコマーシャルをしているイギリスメーカーの8 万円前後のクリーナーの動きが良い。客の志向が高単 価の良い商品へ動いているようである。
やや良く なっている		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・連日の猛暑で夏物商材の売行きが好調である。衣料 品だけではなく、日傘、帽子、日よけ用手袋なども前 年に比べ、良く売れている。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・猛暑が続き、クリアランス商品、特に衣料品及び季 節品の販売量が多くなっている。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・猛暑のせいかアイスクリーム、ドリンク類が大変良 く売れており、合わせて他の商品の売行きも上がって いる。
		家電量販店（店 長）	お客様の様子	・気温の高い日が続いていることもあり、エアコン、 扇風機等、冷房関係の動きが非常に良い。オリンピッ ク、ワールドカップの流れで薄型テレビの動きも良 くなっているので、相乗効果で良くなっている。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・観光地に近い地域であることから、今まではホテル のオーナー、従業員などを対象としていたが、宣伝方 法を変え、その他の客が増えたことから、この2～3 か月の販売量はずっと上向きで、車は売れている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・6月末にコイヘルペスウイルス病指定地域となった 影響を受け、鯉販売関係の業者、料理店は売上が激減 しているが、空梅雨の影響でうなぎ料理などのメ ニューが前年を上回ったため、全体ではやや良くなっ ている。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・7月に入り暑い天気が続いたことからビールの売行 きが割合好調である。前月よりはフリー客も増え、夏 祭りもあることから宴会の動きも順調である。
		観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・前年が冷夏であったこともあり、今年の猛暑で夏の 集客状況は比較的好調である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は暑かったため、いつもよりタクシーを利用す る客が多く、売上が20%程度増加している。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・4月以降、新築戸建てを中心に販売量が増加してい る。オリンピック控え、デジタルサービスへの加入 客も倍増している。量販店担当からデジタルテレビの 購入も上向きと聞いている。
変わらない		商店街（代表 者）	お客様の様子	・暑さが続く中での買物は、商店街より郊外の大型店 に流れている。近々商店街に24時間営業のコンビニエ ンスストアがオープンすることは、今から良い話題で ある。土日に夏祭りがあるので、商店街では販売商品 に趣向を凝らしている。
		一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・この夏の暑さは格別で、七夕セールは客が厳しい暑 さで家にじっとしているために今一つである。
		スーパー（経営 者）	販売量の動き	・猛暑ということもあり、飲料、ビール、発泡酒の売 上が好調で、中元ギフトの動きも早くなっている。大 型店出店の影響も企業努力により、予想したほどでは なく、来客数は前年比で2%伸びているが、客単価が 低下しているため、前年並みの売上維持が精一杯であ る。
		スーパー（統 括）	単価の動き	・この猛暑で、既存店売上は前年同期比5%、飲料が 25%、アイスクリームは45%、夏物衣料が20%とそ れぞれ増加しており、消費回復の実感はあるが、前年 の冷夏の反動による一時的な回復の可能性もある。来 客数は8%増であるが、商品単価はいまだに下がり続 けており、一時的な販売増も移ろいやすい天候が要因 であることから、持続性があるとは考えられない。

	スーパー（副店長）	販売量の動き	・この夏の猛暑で、ビール、飲料、冷や麦素麺等の動きが良いが、その他の生鮮品については、売上が厳しい。
	コンビニ（店長）	お客様の様子	・暑い日が続いたことから、水物や冷たい物などを求める客の動きがやや良くなっている。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・売出の目玉商品のみ売れていく傾向は、変わらない。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・高付加価値商品を勤めてはいるが、客はとりあえず使えれば良いからと低価格品を買うことが多い。
	乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・依然として低価格車しか売れない。修理もどうしようもないほど壊れないと出さなくなっており、車検台数も減少している。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・中旬ごろから行っている販売促進のイベントへの客の反応は多少あるものの、売上は前年同水準で変わらない。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・集宴会は前年並みであるが単価が依然として安く、宿泊、レストランはいまだに低調な動きとなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・全般的に好景気になりつつあるといわれているが、当地域は今が底である。行事、祭りなどがあっても参加するのは学生などだけで、企業は自粛ムードで参加を控えている。
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・客が問い合わせをしてから購入を決めるまでの時間が非常に短くなっている。現状維持で可もなく不可もなくという状況である。
	旅行代理店（営業担当）	それ以外	・来客数、販売量とも微増傾向にあるが、消費単価が依然として低迷していることから、販売額には反映されていない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・修理は多いが、買換えは相変わらず少ない。
	観光名所（職員）	お客様の様子	・非常に暑い日が続いており、客の入込は例年以上となっているが、自分の別荘等を利用する人が多く、ホテル、レストランの売上は例年と変わっていない。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・3連休の来客数が前年を下回り、トータルでも前年人員に及ばない見通しであるが、利用単価は引き続き高水準で推移している。
	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・真夏の暑さによる客のゴルフ場離れが進んでいる。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・非常に悪かった6月と同様の状況である。暑くて客が出てこないが、カットの客は多少増加しているので、総じて変わらない。
	設計事務所（所長）	それ以外	・設計業界の仕事量全体は減少傾向で、多忙な事務所と暇な所がはっきりと色分けされてきている。当所は多少仕事量が落ちているが、何とかやっつけていけるという状況である。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・客は土地、住宅の購入を慌てず、価格、返済計画をじっくり検討している。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・製造業は良い方向に向かっているようであるが、不動産業界は地価の下落が一向に止まらず、賃貸でもかなり空室が増えている状況である。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・町に人が全然来ない。通勤、通学時を除くと本当に静かな町となってしまう、目的買いの人も少ない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・夏祭りには人出があったが、それ以降は猛暑もあって全く人出がない。
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・毎日暑いことから、来客数が非常に少なく、袖物、スーツ等の上物の動きが特に悪くなっている。
	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・ボーナス時期、バーゲン時期であるが、Tシャツ、カットソーなどの単品購入が多く、客単価が上がらない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・メーカーの問題の影響で特殊な状況下にあることから、販売量が前年比50%となっている。協力販売店などでも全銘柄について販売台数が落ち込んでいるとのことである。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・2～3か月前は総会や総会後の会合、宴会等があったが、現在は会議があっても懇親会等はない。暑気払いなども企業の大きい団体ではなく、本当に小規模な上に3千円程度の飲み放題、食べ放題のような簡単な会である。

		その他サービス [自動車整備業] (事務長)	来客数の動き	・2年おきに入庫のある自家用車の車検は、一番悪かった2年前と同様の入庫状況で、15%以上落ち込んでいる。	
		設計事務所(所長)	販売量の動き	・新規の設計依頼が少ない。以前からの依頼物件も客の慎重な姿勢からなかなか計画が進まないの、成果品の納入がずれ込み、売上金の回収が遅くなっている。	
	悪くなっている	一般小売店[衣料] (経営者)	販売量の動き	・観光業の低迷に加え、市内の企業がボーナスを3割カットしたなど、良くなる要素がない。購買意欲はかなり悪くなっている。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業 (営業統括)	取引先の様子	・国産ワインは相変わらず苦戦しているが、付加価値の高い商品に動きが若干あり、徐々に全体が底上げされる傾向にある。	
		化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・半導体関連の受注量は確実に増加している。ユーザの使用増により、供給する入れ物の大型化の注文も入り始めてきている。	
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・親会社の産業機械や工作機械の生産が前期比130%となり、初めて生産増に対する協力依頼が来ている。資材が高騰しているので、どう利益にリンクさせるかが問題である。	
		精密機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車関係、IT関係や、機械設備等の受注が増加している。	
		輸送用機械器具製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・本来3月が自動車メーカーの受注、販売のピークとなるが、今年は6月がピークとなり、前年比16%増の実績である。7月の景気も依然として強みである。	
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・空梅雨、猛暑のため、飲料水、エアコン、扇風機等の家電の輸送依頼は増加している。物量の多さから協力会社による車両確保が難しいほどである。	
		新聞販売店[広告] (総務担当)	取引先の様子	・7月のチラシ出稿量は前年比109%と依然として好調である。取引先の百貨店、量販店では、季節商品、特に衣料品の売上が近年にない伸びを示しているという。	
	変わらない		一般機械器具製造業 (生産管理担当)	受注量や販売量の動き	・夏休み前という短納期の試作依頼を多く受注しており、全体の受注量も高水準を維持している。
			電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・あちこちで大企業の景気が良いと聞かすが、小、零細企業はいまだに厳しい状況が続いている。業種により多忙か仕事がないかがはっきりしてきており、コストは依然として安い。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・全般的に低価格が定着しつつある。	
		金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・製造業は電気、電子、自動車関連を中心に全体的に受注が増加し、順調に推移している。一方、地元商店街を中心とする小売業は大型店との競争が厳しく、景気回復の影響もまだ波及していないため、依然として厳しい状況にある。	
		不動産業(管理担当)	取引先の様子	・下請の工事業者の話では、受注が横ばいから微増になってきたものの、価格競争が激しく、引き下げ要求の圧力が強いので、忙しい割にはトータルでの売上が上がらないとのことである。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・受注、販売の価格面での条件が厳しい。	
		その他サービス [放送] (営業担当)	受注量や販売量の動き	・自動車、電機等を中心に景気に明るさがみえていますが、地方都市でのコマースは依然として厳しい状況にある。新規のスポットコマースが出てきているが、短期間で小口化している。イベント受注は競争が激しく、経費がかさんで利益に結び付かない。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・メイン取引先の一つからの受注量が減少している。		
	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・宝飾品の販売は総じて低調である。シンプルなダイヤ製品が売れている反面、デザイン物のジュエリーが不調である。		
悪くなっている	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事主体の会社なので、公共事業削減の影響を大きく受け、売上は前年同月比で30%減少している。		

雇用 関連	良く なっている	求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・昨年から今年にかけて、求人広告の掲載が増加している。以前はB3版が主流であったが、各地区ともにB2版の分量が出て、最高の売上を達成している。
	やや良く なっている	人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・IT関連メーカー、情報処理企業、介護施設などが目立つ求人先で、ルートセールス、営業販売業務等の即戦力となる経験者を要望されるケースが多い。一方、登録スタッフは圧倒的に女性の事務職希望者が多く、求人のニーズに見合う人材が不足している。求職者数はやや少ない状況で推移しているが、条件に満足しないまま就職中という人材も多いはずなので、ハローワークや職業訓練施設などへアプローチをし、優良な人材の掘り起こしを更に図る予定である。
		求人情報誌製作 会社（経営者）	それ以外	・予約も含め、周辺企業からの広告掲載件数が増加している。企業は宣伝費の予算を多くとるようになっており、サイズ、色数、枚数、枠のサイズ等についても、価格よりPR効果重視でという企業が非常に増えている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人、月間有効求人ともに前年比21か月連続で増加となっている。最近では1～2名の募集ではあるものの、初めて求人を出す企業や何年かぶりという企業が増えてきている。
		職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・最近では、職安に仕事を求めてくる人が毎月減少している。
	変わらない	求人情報誌製作 会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺に大型スーパーがオープンしたため、求人数は増加したものの、パート、アルバイトが多い。一般企業の求人は変わらず、製造業は特に派遣業の募集が目立っている。
		職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・有効求職者が3か月連続して減少しているが、パート求職者の割合が新規、有効ともに増加している。
		学校〔短期大 学〕（就職担 当）	求人数の動き	・例年この時期に求人のある主に卸、販売、サービス業などの企業に問い合わせたところ、繁忙の場合は派遣やパートで対応し、正社員採用には慎重なスタンスである企業が多い。
		学校〔大学〕 （総務担当）	求人数の動き	・中央では景気が回復傾向であると報道されているが、求人数には反映されていない。
	やや悪く なっている	人材派遣会社 （経営者）	周辺企業の様子	・住宅関連の加工部門の請負に関しては注文は入ってきているが、人員はかなり減らされている。電気、電子関連については依然として求人数が増加しているおり、人の動きはあるが、生産量はかなり抑えられている。
悪く なっている	-	-	-	